第2740地区 創立／1990年9月29日 認証／1990年10月22日

佐世保中央ロータリークラブ週報

会長：大久保 厚司／副会長：浅野 訓一／幹事：本田 実

2014～2015年度クラブスローガン

貴方の輝くロータリーライフを
Your rotary life to glisten

2014～2015年度 RIテーマ
ロータリーに輝きを

〒857-0872長崎県佐世保市上京町3-2セントラルホテル佐世保419号室 TEL.0956-25-5595 FAX.0956-25-3445 Mail.chuo-rc@theia.ocn.ne.jp

本日の出席率６９．０４%: 会員数４５名・出席２９名・欠席１３名・出席規定免除会員（３） ０名・ビジター０名
前々回の修正出席率１００%: 出席３０名・メークアッ１２名・出席規定免除会員３名

会長挨拶／大久保 厚司君



今日の話題はデング熱で話題のウイルスによる感染症（デング、マダニ、エボラ）についてです。

生活の中には多くのウイルスが存在しており、A、B、C型肝炎、インフルエンザ、エイズ、ポリオ、ノロやアデノ・ロタウイルス（ 食中毒による嘔吐下痢症状 ）、ヘルペス（ 水疱瘡や突発性発疹 ）、ピコルナ（ 風邪や鼻炎、手足口病 ）などヒトに感染すると解っているウイルス群は34群で約68疾患も有ります。ウイルスの大きさは通常約20nm ～100nm 程度で、自己増殖能力はないので他の生物の細胞内部に侵入しDNAやRNA遺伝子情報を操作して増殖します。

ワクチンは、ポリオ、インフルエンザAとB、麻疹、風疹、水痘、天然痘、A型肝炎、日本脳炎、ダニ媒介脳炎（欧州のみ）、狂犬病、黄熱病、ムンプスの15種が作られ効果が確認されています。

出血性ウイルスの感染路はヒトや動物の血液を媒介します。その命に係わる致命率は1%以下です。重症例では26%と報告されているデング熱（フラビウイルス属）は4型があり、3型・4型はデングショック症候群で熱性疾患を引き起こします。その他の症状には1型・2型の発熱、頭痛、筋肉痛、関節痛、はしかの症状に似た特徴的な皮膚発疹から発展して出血性ショックを引き起こすこともあります。糖尿病や気管支喘息など持病がある人は命にかかわることがありますので注意が必要です。

ゴルフをする方にご用心なのが致命率6.3～30%のマダニ（フレボウイルス属）による感染症です。症状は発熱、消化器症状（食欲低下、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛）が多く認められ、その他頭痛、筋肉痛、意識障害や失語などの神経症状、重症熱性血小板減少症候群はリンパ節腫脹、皮下出血や下血などの出血症状を来します。

アフリカで広がっているエボラ出血熱（フィロウイルス科）は5種類有ります。現在、流行しているアフリカのザイール型エボラウイルスは700nm 前後のサイズがもっとも感染性が高く、通常7日程度（2日～最長3週間）で致命率は53～90% と遭遇ウイルス中、最強です。これら発熱性のウイルスは体内のコラーゲンを破壊して、出血を引き起こします。

このようなウイルスは培養が難しく、種類も多いので、免疫抗体を作る予防接種や治療法（対処療法のみ）も殆どないのが現状で、Toll様受容体（一般の病原体を排除する非特異的な自己免疫作用）の働き次第というところでしょうか。ただ、開発中の未承認薬は エボラには siRNA 製剤や C 型肝炎に対して開発されていた miRNA 製剤「ZMapp」も動物実験で効果が認められて今後に期待されています。

Report 幹事報告／本田 実君



1．例会変更
ありません。

2．来　信
・ガバナー事務所
米山奨学生の出前卓話に関するお願いと日程表
芥川翔一郎君の交換学生報告
・地区大会事務局
地区大会関係資料等及び提出のお願い

committee 委員会報告



八重野一洋 社会奉仕委員長
地区より広島豪雨災害義捐金のお願いがきております。募金箱を回しますので、よろしくお願い致します。

週報制作：会報・出席委員会／川島 千鶴、坂井 智照、田雑 豪裕、南部 建、山口 裕之、香月 章彦、岡田 文俊

前田眞澄 中央会幹事



9月7日（日）、ハウステンボスカントリー倶楽部にて本年度第1回（通算114回）中央会を開催いたしました。21名のご参加を頂き、天候にも恵まれ無事終了いたしました。参加いただきました21名の会員の皆様に感謝申し上げます。優勝者は池永隆司君 IN47、OUT52、GROSS99、HDCP30、NET69でした。準優勝者は坂井智照君で IN45、OUT46、GROSS91、HDCP21、NET70でした。おめでとうございます。尚、新ハンディが決まりましたので、改めて第2回開催前に皆様にインフォメーション致します。

(^_^) ニコニコボックス

大久保厚司会長、浅野訓一副会長、本田実幹事

関東地方や北海道 札幌市内の集中豪雨、一方、九州北部地区は9月に入って連日の晴天夏日と異常気象続きです。
今日、浅野副会長は業務してお休みですが、ニコニコは欠かしません。
追；昨夜の佐世保中央RC基金会役員の皆様、お疲れ様でした。会費の残金をニコニコします。

馬場貴博親睦活動委員長

本日は例会終了後、新入会員の宮﨑祐輔君と戸浦善彦君の歓迎会を予定しております。皆様のご参加宜しくお願い致します。

前田眞澄中央会幹事

9月7日に開催されました、本年度第1回（通算114回）中央会に21名の参加を頂き、又懇親会にも全員参加頂き、ありがとうございました。本年度、中央会幹事として『一球入魂』を信条に頑張ります。

田雑豪裕君

池永さんから先日の中央会で馬をとらせていただいたことを、思い出しましたので、多少のニコニコを致します。

池永隆司君

先日の中央会で強敵の井上パスト会長を打ち負かし、最後はパット勝負で坂井パスト会長にも勝ってしまい、自分の立場もわきまえずに優勝してしまいましたので、ニコニコ致します。

本日の合計	10,000 円
本年度の累計	270,000 円

本日の卓話

■第２回クラブフォーラム■
担当：クラブ管理委員会

四元 清安君
交通安全について



「秋の交通安全運動」が9月21日～10月1日まで10日間実施されます。会員の皆様も自家用車の運転には十分気をつけて頂きたいと思います。

平成26年9月3日現在の交通事故の発生件数
長崎県下では、
4223件 死者 38（6名増加） 負傷者 5460
佐世保署管内
394件 死者 7（5名増加） 負傷者 489

事故発生時の自動車の速度を皆さんはご存知でしょうか？最も多いのは何キロの時か知っていますか？
①10キロ未満
②20キロ未満
③30キロから40キロ
④50キロ以上

正解は①番で、10キロ～20キロ未満での事故が最も多いです。例として駐車場から出るときに、人もしくは自動車、自転車、バイクに接触します。横断歩道で前の車が出発したと思い、すぐ止まったのを気づかず追突します。50キロ、60キロ以上の時の事故は、死亡事故が多いです。

安全確認の一旦停止は絶対必要です。0.5 秒、視覚では物の判別がつきません。見落としが多い。1秒で、人か自転車か判別がつきます。2秒で、余裕が出てスタイルのいい美人かイケメンの男かの判別ができます。事故率が一番下がる時間です。

また、飲酒運転について新設された罰則がありますので紹介します。「過失運転致死傷アルコール等影響発覚逸脱罪」飲酒運転事故などの「逃げ得」を防ぐ処罰規定（12年以下の懲役）です。

少子高齢化がもたらす影響
１．社会について

年金・医療・厚生福利費の増大、また生活保護費の意外な傾向があります。十分働ける若いニートの方が就職するという自立した生活をわざとしない人が増えているということです。高齢な両親の収入、特に年金をあてにして「こずかい」をもらい就職もせず生活しています。その両親がいなくなると兄弟・親戚の収入をあてにします。生活保護法では生活保護を受ける前に生活の面倒をみることができる兄弟・親戚を探し、その人が援助するように依頼します。民法での規定を盾に自身の権利だけを主張する人が増えているそうです。

２． 企業について

定年の延長、65歳定年義務化、70歳まで定年延長の義務化を国は計っています。そのことで若い労働力とうまく世代交代ができないでいる企業があります。経済状況が回復していない地方都市では、若い労働者の確保が困難になっています。特に深夜勤務の多い運輸業界においてもその傾向が顕著であります。

私どもタクシー業界では、労働者不足により実働率平均80%を切れています。実働率というのは、在籍車両数20台とすると20×80%＝16台しか動かないということになります。現在佐世保市内のタクシー会社に例えますと、市内全車両数488×20%＝97台「約97台所有の会社」が一つない状態で営業をしているということになります。

現実四国の地方のタクシー会社では、お客様がいるにもかかわらず、乗務員不足でタクシーを配車出来ず労務倒産したところがあります。タクシー車両を動かす人がいないということです。退職者より新入社員、若い年齢の労働者の確保が難しいという現状に陥っています。労務倒産が現実のことになっています。

ロータリーでも同様で新入会員の確保ができないと、数年で倒産危機を迎える企業のような状態に陥ってしまうということを「認識しなければいけない」ということです。地区で進めているように、新入会員を増強するためには、例えば東日本震災の支援活動・米山奨学生・青少年交換学生の支援・GSE（各国の学者の研究グループの交換）・職場訪問（会員以外の方も参加出る）・社員招待例会・忘年家族会・国内外の姉妹クラブの訪問など、もっと地域社会など対外的にロータリー活動の宣伝・アピールを積極的に行う必要性があるように思われます。

ちなみに「事故ゼロと書いてある交通安全ののぼり」にスポンサーとして「佐世保〇〇〇〇〇クラブ」というロゴが入っていました。身近な所で「〇〇ロータリークラブ」というロゴが入っているものはあまり見たことはありません。会員の皆様もそうではないかと思います。

奉仕活動の宣伝をしないというのが今までのロータリーの方針でしたが、メディアの通信媒体の発展により、インターネット・フェスブック・ラインなど新しい通信機器での宣伝が可能になり、パソコン・アイフォン・アイパットなど高齢者でも扱いやすい機器が販売され利用できるようになり、情報が取得しやすくなりました。

またロータリーも多くの情報を持ち、かつ対応できる情報網とシステムを構築する必要性があると思います。有能な専門知職を有する女性、有能な女性経営者など、まだまだ我らが知らない人材が男女問わず佐世保にもいると思います。人材の発掘こそこれからの希望となるのではないでしょうか。そのためには、委員会メンバーは勿論のこと全会員の協力をお願いし、入会しそうな友達・知人等、情報提供の紹介をお願いします。

なにはともあれ、前半期は会員増強のみに特化し、会員の獲得を確実なものとし、5名純増に向かって委員会一同努力をして行きます。

第2740地区の現況について、会員数は2013年7月1日2169人、2014年5月末2217人増減＋48人となっていますが、2014年7月末は2209人と減少しています。

日本のロータリーは、1970年まではロータリークラブに入会できることが「ステータス」となっていました。しかしながら、新クラブを作るために子クラブにテリトリーを割譲したり、それが限界に来るとテリトリーの共有・2階建て・3階建てと手法を変えました。現在はこれまでのテリトリーという概念を捨て、狭い地域にある複数のクラブが、会員の取り合いをしている現状となりました。つまり、ロータリークラブは選ばれる時代になったのです。金太郎飴みたいに一つの地域に同じようなクラブが3つも4つも存在する意義があるのだろうかという疑義も生じます。

また例会の開始時間をモーニング・イブニングとすることはクラブ細則で認められていますし、会費の額なども同様です。日本ロータリーでは1週間おきの隔週例会・月2回の例会等、200のロータリークラブを選びシミュレーションをしてアンケートを取ったと聞いています。隔週例会・月2回の例会を支持したクラブが多数あったということです。

クラブで考えなくてはいけないこと

①例会の時間・形式・場所・家族のいる会員・キャリア形成期にある若い職業人にとって都合のよいものであるかどうか。
②クラブ会員は、地元地域の年齢・性別・職業の多様性を適切に反映しているかどうか。
③クラブのプログラムは、クラブ会員の関心を反映したものになっているのか。
④例会中、儀礼的なことに時間をついやしすぎて講演・話し合い・プロジェクトの計画・ネットワーク作りの時間が犠牲なっていないか。
⑤クラブは、例会を訪問したゲストに対して、後日必ず連絡を取っているか。

これらのことを会員皆様と共に考えていきたいと思います。



ＳＡＡ：糸瀬 新君
次回例会／９月１８日１２：３０～
次回献立／季節の魚煮付、小鉢、五色生酢